

② **した** 市議会だより



新しく整備された中央公園

もくじ

- 6月定例会で審議した議案とその結果
…2ページ
- 各委員会の議案等の審査結果
…10～11ページ
- 市政に反映、皆さんの声
(一般質問) …3～9ページ
- 請願の結果・意見書・人事案件・臨時会の結果
公職選挙法に関するQ&A …12ページ

6月定例会

国民健康保険税条例の一部改正を可決

平成二十二年第二回定例会は、六月七日から会期十八日間で開かれました。

この議会では、国民健康保険税が昨年度に比べ十七・七%増と大幅に増額される改正案が提案されました。この主な理由は、平成二十年度の前期高齢者交付金が過大交付されたことにより、今年度の交付金が約四億六千九百七十万円減額されることとなり、その財源対策として基金六億円のうち五億円を充当する税率改正の原案に対し、教育福祉委員会では、基金のほぼ全額を充当し、少しでも負担軽減を図ろうとする修正案を提出しました。また、一部議員からは、基金に加えて一般財源を投じ、更に負担軽減を図る修正案も提出されました。

議会では、多くの議論が行われましたが、国民健康保険の安定的な運営のためには一定額の基金の保有は必要であり、今後の運営方針については時間を掛け慎重に審議すべきである等の理由により、原案を多数をもって可決しました。

その他の議案は、左記のとおり決定しました。

6月定例会で審議した議案とその結果

- 日田市税条例の一部改正について (原案可決・多数)
- 日田市都市計画税条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 日田市税特別措置条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 日田市職員の育児休業等に関する条例及び日田市職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 日田市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 日田市立診療所条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 日田市国民健康保険税条例の一部改正について (原案可決・多数)
- 工事請負契約（地域情報基盤センター施設整備工事請負契約）の締結について (原案可決・全員)
- 工事請負契約（地域情報基盤伝送路施設整備工事請負契約）の締結について (原案可決・全員)

- 工事委託協定の締結について (原案可決・全員)
- 財産の取得（消防ポンプ自動車）について (原案可決・全員)
- 財産の取得（校務用コンピュータ）について (原案可決・全員)
- 財産の取得（ウッドコンビナート公園）について (原案可決・全員)
- 財産の取得（雇用促進住宅日田宿舎）について (原案可決・全員)
- 日田市営その他住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について (原案可決・全員)
- 平成二十二年日田市一般会計補正予算（第一号） (原案可決・全員)
- 専決処分（日田市税条例の一部を改正する条例）の承認について (原案承認・全員)

●会期
6/7~6/24



一般質問

市政に反映 皆さんの声

平成二十二年第二回市議会定例会では、六月十四日、十五日、十六日の三日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、十六人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。



市内循環 バスについて

松野 勝美

質問 本年四月から運行を始めた二台の市内循環バスの利用状況、反響について伺いたい。

部長 四月の一日当たりの平均乗車数は二・三人、それから、五月の一日当たりの平均乗車数は二・七人となっている。

質問 多くの市民からの声を聞き、路線の見直しをできないか伺いたい。

部長 住民の利便性が高まる高齢者など交通弱者の助けになるコースの見直しは、市内循環バスの目的に合致したものと考えている。要望や意見を取り入れて、より利用しやすい便利な市内循環バスの運行を目指したい。

質問 子宮頸がんは、年間一万五千人が発症し、約三千五百人が亡くなると推定されている。子宮頸がんは、予防できるがんであり、その対策が、全国各地で前進している。日田市でもワクチンの公費助成を検討できないか伺う。

部長 子宮頸がん予防ワクチン接

子宮頸がん予防に 公費助成を

飯田 茂男

質問 女性の命と健康、権利を守るため、十歳代の女性の子宮頸がんの予防ワクチン接種に対する市独自の公費助成を強く要望するが、市長の見解と対応を伺う。

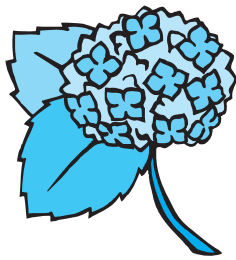
市長 子供たちの将来にかかわることであり、公費助成について早急に医師会や関係機関と協議を図り実施に向けて検討する。県でやれないなら、市が先行して公費助成に取り組みなければならぬ。

質問 成人T細胞白血病(ATL)の原因ウイルス(HTLV-1)の母子感染予防の実態と感染者への支援について問う。

部長 この四月から、妊婦検診の検査項目にHTLV-1抗体検査を追加し、公費負担で実施している。抗体検査で陽性と判明した方への支援として、母子手帳交付の際に相談窓口の周知を行い、相談者には随時支援を行い不安軽減に努め、市民に疾病に対する正しい理解と予防の周知に努める。

質問 パトリア日田周辺の中心市街地の活性化と歩道改修について。

部長 中央公園とパトリア日田を一体とした活用による周辺商店街の誘客と販売促進、活性化に向け



種の公費助成については、医師会や医療機関と協議を行い、状況を見極めて、実施に向けて検討したい。

質問 学校給食での異物混入の問題について、有事の際のマニアルなどは、今までなかったのか伺いたい。

教育次長 いわゆる食中毒等も含めて、発生した際の連絡体制は、平成二十年度に策定している。今回栄養士の方とも意見交換の中で、そういう詳細について情報がおりてなかった。そういう点も今回対応を改める。

周辺部はなぜ 住みよくならないか

樋 □ 文

質問 市周辺部の安全で安心な住みやすい対策は、どうとらわれているのか。

部長 地域と一体となって取組を行っている。

質問 源栄町では防火水槽はあるが、消火栓のホースがないのが見受けられるがどうか。

部長 各消防団に依頼し、消防水利の点検調査は行っている。



質問 実際に不都合が出ている所もあり、予算がないというが。

部長 初期消火は重要であり、補正予算を組むことも考えたい。

質問 市周辺部では働く仕事がない困っている。山林の間伐材を活用して賃金を得る施策はないか。

部長 高知県ではすでに行っており、よければ考えてみたい。

質問 鳥獣害対策で赤外線センサーを使って成果を出している所があるが、使用してみたらどうか。

部長 効果があれば考えてみたい。

質問 子ども手当の効果は。

部長 市では二億二千万円支給しており、子育ての援助にはなる。

質問 父子家庭、みなし寡婦の実態はどうつかんでいるのか。

部長 対象者の数は把握しているが、対策は十分ではない。

質問 今後の対策を十分に練ってもらいたい。

質問 アレルギー疾患の児童・生徒に対する取組はどうなっているのか。

教育長 学校、学校医、保護者で話し合いをする体制はできている。

質問 旧伏木小跡地活用はどうか。

部長 地元と協議を進め、農産物加工場を検討している。

公共交通の考えを問う

鷹野 守 男

質問 四月一日に運行開始した、市内循環バス「ひたはしり号」の情報の周知・PRの方法と利用状況を伺う。

部長 三月十五日号の市報四ページを使い、市内循環バスと朝日ヶ丘・桃山線の運行開始をお知らせした。

三月三十日には、お披露目式とデモンストレーション走行を実施し、新聞、テレビで報道された。

また、路線図や時刻表を記したチラシをバスセンターに配付した。

運行開始後は、利用者、運転手の聞き取り調査やケーブルテレビでの紹介、日田バスと共同で沿線の自治会や商店街、病院等へ路線

図の掲示や時刻表の配布をお願いし、利用を呼びかけている。

市内循環バスの四月の利用者は、千三百七十四人、二便当たりの乗車数は二・三人、五月の利用者数は千六百五十七人、一便当たりの乗車数は二・七人となっている。

また、朝日ヶ丘・桃山線の四月の利用者は九百五十三人、一便当たり三・二人、五月が八百五十九人、一便当たり二・九人となっている。

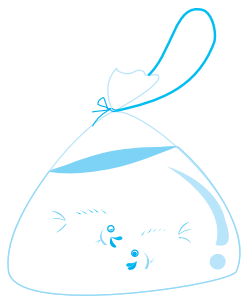
質問 夜明、大鶴駅へのアクセスの考えはどうか。

部長 大鶴駅、夜明駅と両地区の各集落を結ぶデマンドバスの運行を平成二十三年度に計画している。

質問 循環バスの運行コースの見直しで利便性を図る考えはないか。

部長 利用者のアンケート結果や市民の意見も取り入れ、関係会議で協議していきたい。

質問 その他、市職員が年休取得状況、河川対策について質問した。



副市長後任人事について

坂本 盛男

質問 任期を残し唐突に、三月末辞任した石松副市長に関する新聞報道は、市民に大きな波紋を投げ掛けた。後任人事について伺う。

市長 副市長の退任の弁については、ご本人の思いから出たもので、私から何ともお答えのしようがない。後任人事については、市長の補佐役であり、いわば女房役である。慎重に考え、選んでいきたいと思っている。

質問 教育費は、広く社会全体で支えるという政策理念の下に、制度が四月からスタートした高校授業料無償化及び日田市の実態について伺いたい。

教育次長 公立学校三校は、千九百六十五名で、無償化となる授業料が、平成二十二年度年間総額二億二千九百万円、私立高校二校については、九百一名で年間総額は、一億三千七百万円の見込み。家庭の状況にかかわらず安心して勉学に打ち込めるよう、家庭の教育費負担を軽減する目的としている。

質問 平成二十二年度の市奨学金の対象者の数と授業料無償化の制度がスタートしたことに伴い、日田市の奨学金制度が、次年度から減額ないし廃止となるようなことはないのか伺いたい。

教育次長 対象者は、新規、継続併せて百六十四名、定時制の生徒にも高校授業料無償化と奨学金貸付制度の適用は受けられる。就学に必要な資金を貸し付けているもので、減額、廃止の考えはない。

質問 このほか、川開き観光祭の検証と今後の課題、選挙投票所等の問題についても答弁を求めた。

観光行政について

溝口 千

質問 観光についての市の基本的な施策、方向性と観光協会が行う種々のイベントや企画についての意識合わせはどう行っているのか、またそれらの成果や反省点の把握はどうしているのか。

部長 観光戦略の意思決定は、毎月、観光協会と観光・ツーリズム振興課で二者会議を開催している。また、新たに旅館組合を含めた三

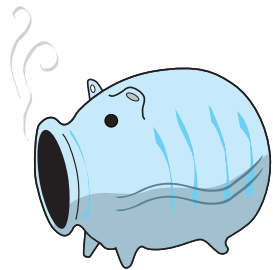
者会議も実施し、統一した認識で観光振興に取り組んでいる。

質問 先日の観光協会の総会では、二十一年度の観光客の推移の集計ができていないと言われた。前年度の状況が把握できていない状態で、今年度の取組ができるのか奇異である。市はどう把握しているのか。

部長 二十一年度の観光客は総数で五百八十万人で、福岡県の観光客が四五・二%を占めている。ピーク時と比較し近県の客は減少しているが、中部、関西地方が増加の傾向である。

質問 ここ数年、宿泊客の減少が顕著である。今後、日帰り客を多数獲得する施策を進めるのか、また、宿泊客を取り戻す施策を進めるのか。基本的な考えを伺う。

部長 不況の影響などで、宿泊型観光から日帰りレジャーへの移行が急速に進んでいる。このため



三隈川・大山川 水量増加協議について

石橋 邦彦

屋形船ナイトクルーズや地元食材を生かしたグルメ企画にも取り組み、近郊からの誘客に積極的に取り組む。また宿泊についても、旅館等のおもてなしの向上や天ヶ瀬温泉の地域資源を生かした魅力ある温泉整備にも取り組んでいく。

質問 三隈川・大山川河川環境協議会での水量増加検討協議の内容は、どう進展しているか伺いたい。

市長 昨年の十二月に、水郷ひた再生委員会、学識経験者、大分県九州電力、国交省、筑後川ダム統合管理事務所、日田市で検討会を設置し、議論を重ねている。九州電力からも前向きと理解できる意見ももっている。今後年内を目途に、毎秒千トンの水量実現に向けて頑張っていく。

質問 日田市の高齢者見守りシステムは、合併前からのもので、三種のシステムとなっているが、それぞれの通報利用回数を伺いたい。

部長 旧日田市と天瀬町の緊急通

報は、中ノ島園が受信センターとなつている。ここは昨年度、六百四十件の通報があつた。上津江町は、上津江町の社会福祉協議会に通報がいくが、データを把握していない。大山、前津江、中津江は、通報が直接協力者にいくが、これもデータを把握していない。

質問 日田市において、高齢者のみの世帯数が、六千六百世帯、全世帯の二十五パーセントとなつている中で、本市の高齢者見守りシステムをどう見直そうとしているのか伺いたい。

部長 今後、整備される地域情報基盤である光ファイバーを生かした見守りシステムの構築を図りたい。システムの操作性、利便性、費用対効果を精査しながら、積極的に検討していきたい。

給食の安全・安心の充実強化は

瀬 剛

質問 学校給食センターの安全・安心の調理と食育について教育長の考えを伺いたい。

教育長 市教委としては、適切な栄養の摂取による健康の保持、増



学校給食センター

進を図ること、日常生活における食事について、正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うことなど七つの目標が達成されるよう、各学校に栄養教諭を派遣するなど指導、助言を行っている。

質問 これまでも継続して質問を行っている県道丸山五和線の事業進捗状況について、また全線開通年度について伺いたい。

部長 中ノ島工区の今年度工事については、庄手川に架かる新亀山橋の左岸側橋台と玉川バイパスま

での本線の工事を予定している。中釣工区は、昨年七月に国の事業認可を受け、既に用地測量を完了し、逐次用地交渉を行っている。全線開通の見通しは、公共事業を取り巻く社会情勢は厳しく今後の事業の進捗に影響を及ぼすこともあり、平成二十年後半になると伺っている。地元の皆様には迷惑を掛けているが、日田市としては、今後とも県と連携をし、早期開通を目指していきたい。

質問 その他、現亀山橋を自転車、歩道用に改橋して残す方向での強い要望を市長に行い、その他の質問は、子ども手当の支給の問題点、介護労働者の賃金の増額、日田市における公契約条例の推進について質問した。

口蹄疫の危機管理体制は

吉田 恒光

質問 宮崎県で感染が表面化した口蹄疫が猛威を振るっているが、日田市での口蹄疫に対しての危機管理体制を伺う。

部長 市内で口蹄疫が発生した場合は対策本部を設置し、家畜伝染

病予防法に基づき拡大防止に努め、マニュアルに沿って市民生活への影響を最小限に抑えたい。

質問 家畜を殺処分する事態を想定し、畜産農家に埋却地の確保を求めているが、確保できているのか伺う。

部長 事前に調査したらほとんどの農家が埋却場所は確保している。

質問 畜産農家の支援対策を伺う。

部長 防疫対策として消石灰、車両消毒用の消毒液と噴霧器の配付、支援策として、市場出荷予定の子牛に一月二袋、約十分の飼料を配付している。

質問 日田キヤノンマテリアルの日田工場の早期開業を期待しているが、見直しについて伺う。

市長 現在、日田工場の着工決定は、世界経済の回復の兆しが見えるまで、今しばらく時間を要すると伺っている。県との連携の下、操業開始の実現に向け、働き掛けしていきたい。

質問 キヤノン採用の従業員の待遇、新規採用について伺う。

市長 茨城キヤノン化成で実習中の従業員は、連休等を利用して来年三月までに数回に分けて大分キヤノンマテリアルに異動する予定。

来春の採用計画は、キャノングループ全体で検討している状況と伺っており、日田工場の採用計画は明らかではなく、強く要望したい。

口蹄疫対策と被害農家支援

大谷 敏彰

質問 宮崎県の深刻な事態を踏まえて、党日田市議団としても市に九項目の緊急対策を申し入れてきた。子牛価格暴落に対して、県の対策だけでなく市独自の補てんや飼料の追加、仮畜舎設置の支援が必要。どう考えているのか伺う。

部長 大分県が一割以上下がったとき価格差支援として、その四分の三、一頭当たり最高三万円を支援する。短期運転資金として市場に出すことを条件に、一頭当たり十万円の前途金制度があるので、市は今のところ考えていない。仮畜舎については、カーフハッチのリースを利用していただきたい。

質問 中学生までの医療費無料化は、議会の請願採択を踏まえて、入院だけでなく、通院までなぜ対象にできなかったのか伺う。

部長 通院患者の増加や小児科医

の不足、医療費の増加の懸念がある。

質問 就学援助の項目に、新たにPTA会費、クラブ活動費などが追加された。市の「就学援助制度のお知らせ」では、支給対象になっていない。準要保護世帯にも適用するのか今後の対応を伺う。

教育次長 準要保護家庭にも適用する。補正予算も考慮に入れ、県下の自治体の状況も参考にする。

質問 大山川の水量増加の取組と下笠ダム水質改善対策として曝気装置の設置を要望する考えは。

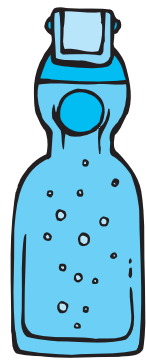
部長 大山川毎秒十トンの増量の要望について、現在月一回の協議をしている。年内には前向きな方向性が示される。国に曝気装置等の改善対策の早期実施を要望する。

滞納世帯への徴収方法を改めよ

野 美智子

質問 市の税務課の壁に、家宅捜索をしている写真を貼っている。

写真では、冷蔵庫を開けて見ている職員がいるが、冷蔵庫の中にお金が隠れているとも思ったのか、また、母子家庭の預金通帳千九百



八十三円を全額差し押さえている。当事者は、これだけあれば米が買えると嘆いていた。差し押さえ物件は、生存権を侵害してはいけな

いとなっている。どういうことか。

部長 千九百八十三円については、具体的に聞いてみないと分からないが、そこに至るまでは十分指導したと思う。冷蔵庫を開けて見たことについては、聞いていないので答弁できない。

質問 知らないといつても写真を見れば分かるではないか。市民を威嚇するような事をなせすのか。

部長 担当課が目標に向かって頑張ろうという思いで貼った。納税者が見るケースもあろうかと思う。

質問 税の徴収は、職員と納税者の信頼関係が基本。このような実態を市長はどうとらえるか。

市長 それはいろいろあると思う。

質問 いろいろあると思うことは、信頼関係を壊してでも徴収しろということか。

市長 基本的には理解をして納税

してもらおうのがいいと思っている。

質問 税金を払いたいけど払えない人が国保の保険証がなく病气やけがをしても払えと言う。生存権の侵害だ。

市長 払えない方から無理やり税金は取れない。実態把握が必要。

質問 ほかに、公営住宅家賃減免などについて質問した。

農業政策と市街地の街路樹対策

中野

質問 ほ場整備が各地で行われているが全体の何割くらいか、進捗状況を伺いたい。

部長 現在実施中の県営工事が完成すれば、整備率六十パーセントになる。

質問 完成した水田は法面が多く、高齢化が急速に進む農家にとって急斜面の草刈り作業は危険が伴う大変な作業であり、将来に向けて

早急な対策が必要と思うが如何か。

部長 指摘のとおりであり対策について県と関係機関で研究した。

質問 平成二十二年度水田対策で米の戸別所得補償制度について、日田市の農家で水田の平均耕作面

積を伺いたい。

部長 平均ということではなく大半の農家が二反から三反の耕作面積と認識をしている。

質問 例えば、二反の農家が申請をした場合、減反をし更に作付面積から一反を差し引いた約二畝について補償するということになるが、納得のいかない制度である。

部長 昨年農水省が発表した制度であり日田市の農家に総額約八千万円が入ってくるので推進したい。
質問 市街地の街路樹対策について、問題となっている駅前周辺や中央通り周辺の調査と対策はできているのか伺いたい。

部長 ケヤキ等が大きくなり商店街のシンボルとして定着した反面、構造物の破損、歩道の通行、側溝の清掃に支障を来している。歩道整備については、多額の予算が必要となるが、地元商店街や関係機関と協議を進め、整備に取り組みたい。



積算ミスの国保税 値上げに反対

日隈知重

質問 今回の値上げ案で、所得百万円の夫婦二世帯の場合、所得二百万円の場合、年間いくらの値上げになるのか。

部長 夫婦二世帯の場合、三万三千五百円の増額で十五万三千六百円の税額。四人世帯の場合、八万八千二百円の増額で三十九万三千八百円の税額となる。

質問 国保積立金の五億円を使っても、なぜ国保税の値上げになるのか。

部長 平成二十年度に交付された前期高齢者交付金が、約四億七千万円減額されたことなど、財源不足のため負担増をお願いすることとなった。

質問 交付金の減額、市には何も問題がなかったのか。

部長 交付金の概算要求を出したが、そのときの推計が過大となった。責任を感じている。

質問 交付金の積算ミスで、国保税の三割近い値上げ。病气やけが、

あるいは低所得になった場合、国保税の減額・減免をする考えはないのか。

市長 日田市の保険料が、大分県の中で飛び抜けて高いわけではない。今回の事情を説明し、市民の方にご理解をいただきたい。

質問 本川牧場が持ち込んだ堆肥の量の推定を市独自に行うのか。

部長 堆肥の量の推定を行う。基準以上に投入されているということであれば、不法投棄にあたる。

質問 その他、イノシシ被害の防止対策について、交付金減額の影響と今後の対応を質問した。

級別職員の構成・ 組織見直しと再任用

森山保人

質問 日田市職員の平成二十二年度の級別職員の構成割合は。

部長 五級の係長・専門員等が百八十人、六級の課長補佐・主幹等が八十七人、七級の課長等が六十八人、八級の部長等が十人。併せて五十一・七％。

質問 五級以上の割合が職員全体の半数以上だが、どう見るか。
部長 平成十七年に合併し旧町村

を日田市の給料表に張り付けた。

その後、平成二十年度に係長・専門員が課長補佐と同じランクにあるのを見直した。五級等については今後の課題と捉える。

質問 高い級数の職員が増えているが、今後の給与のあるべき姿は。

市長 県の人事委員会勧告、国の人事院勧告等を参考に、地方公務員法に沿ってそれに従っていく。

質問 四月一日付で行われた組織見直しの内容や目的と効果は。

部長 組織の見直しは、組織の事務の効率化、行政需要、市民ニーズ等に応じた。見直しにより、八級では参与が退職して一名減で、七級の十三名増は振興センター長や室長クラスを登用で増加した。

質問 一般職の定年退職等の再任用制度の運用実績と、それ以外に定年退職者のうち嘱託などとして雇用している人数は。

部長 再任用制度により採用している職員は現在いない。市のOBは現時点で十二名雇用している。

質問 その他、下水道使用料の徴収実態について、地下水（井戸）を併せて利用している場合などで世帯人数が変動した場合の変更手続き・申請について質問した。



女性・若者・福祉・
観光対策について

財津 さやか

質問 市は、子宮頸がんに対する中学生の予防接種の助成についてどう考えるか。また、中学生以上の年齢層の助成は考えていないか。
部長 十代前半の女性にワクチンを接種することで感染予防が効果的と言われているが、現在は任意の接種で費用が高額なため接種が進んでいない状況である。今後、他市の動向を把握しながら関係機関と協議していきたい。

質問 既存の学童保育の更なる充実を目標に、子育て支援の観点から施設整備及び運営方針が必要と考えるが、今後の対応はどうか。
部長 市では、次世代育成推進法に基づき「ひたし子ども育成支援計画」を策定し、特に重点施策として掲げており、地域の実情に応じながら今後も充実に努めていく。
質問 周辺地域における、生活の足である交通機関の整備が強く求められており、抜本的な福祉バス対策が待たれているが、どう考えるか。また、三花、小野地区を含む

めた福祉バスの運行はできないか。
部長 三花、小野地区の福祉バス運行は、民間バス会社への民業圧迫になることから難しいと考える。
質問 若者定住を起爆剤に将来に向けた市の活性化政策を進めるべきだと考えるがどうか。福岡市等の衛星都市としての構想はないか。
市長 若者に夢と希望を持つて日田市に住んでもらいたい、これは政治として取り組まなければならない。また、日田市を衛星都市としてではなく、中心都市にしたい。
質問 その他、川開き観光祭について質問した。

無認可認定子ども園と
ケーブルテレビ事業

川崎 邦輔

質問 三月議会の認定子ども園を巡る十番議員の討論で、待機児童がいるとあったが、事実はどうか。
部長 国の定義する待機児童はいない。四月に私立保育園が定員を一五〇人増員し適正化されている。
質問 五番議員は、施設の増設なしの定員増は、保育の質の低下を招くと指摘した。現状はどうか。
部長 保護者からは、サービスの低下等の話を一切受けていない。
質問 三月議会終了後、民間保育園連盟との話し合いはできたのか。
部長 今のところしていない。
質問 市長は、認定子ども園問題で民間保育園連盟が協議を拒否したとした。委員会ではその事実がない事を確認した。間違いないか。
部長 私共部署の努力不足だった。
質問 ケーブルテレビ事業の競争入札では、一社のみ応募で落札率は九九・八三%であった。競争原理が働かず負担は受益者に来る。国も制度の改善を求めているが。
部長 公示期間を設け、その結果が一社、競争原理は働いている。
市長 国の通達は承知していないので答えかねる。入札は結果だ。
質問 観光祭の花火大会順延中止の周知徹底が不足していたのでは。
部長 順延の表記の仕方、市民・観光客等への迅速で効果的な周知の在り方を検討し改善したい。

質問 水を資源として見る外国人等の水源涵養林の買収からの保護政策、林業活性化策として森林セラピー制度の導入、三隈川のオイルフュンス設置事業の結果を踏まえての河川水質の浄化策、くじ引きによる入札の改善等を質問した

ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。6月定例会の会議録は、9月上旬から閲覧することができますので、ご利用ください。

議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。

車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。

報告

各委員会の
議案等の審査結果



● 総務委員会 ●
地方税法改正関 議案を
可決

日田市税条例の一部改正は、地方税法の一部が改正されたため、平成二十三年からの所得税の年少扶養親族控除の廃止後も扶養親族を把握できるようにすること、また、平成二十四年から二十六年までに設けられた毎年百万円までを上限とする上場株式等の受け入れ口座内では十年間非課税となる制度が創設されることに伴い所要の措置を講ずること、さらに、市たばこ消費税を今年十月一日から引き上げることなどが主な内容で、「上場株式等の譲渡益、配当所得は高所得者を対象にしたものであ

り、非課税枠を創設することには納得できない」との意見があったが、多数をもって可決した。

地域情報基盤センター施設整備工事請負契約の締結及び地域情報基盤伝送路施設整備工事請負契約の締結は、今回の入札に応じた業者がそれぞれ一社のみとなっていること、落札率がセンター施設で九九・八三%、伝送路施設で九六・八七%と、高率であったことから、「一般競争入札で入札者が一社のみでも有効なのか」、「要件設定型一般競争入札での要件設定はどういう設定か」との質疑や、「入札の在り方を今後慎重に検討すべき」との意見はあったが、入札はルールに基づき執行されており有効なことから、両案を原案のとおり可決した。

このほか、日田市職員の育児休業条例及び日田市職員の勤務時間条例の一部改正や日田市都市計画条例の一部改正等を原案どおり可決した。

● 教育福祉委員会 ●
国民健康保険税案の
一部改正を修正提案

日田市国民健康保険税条例の一部改正については、昨年度より平均で十七・七%増と大幅な増額となっている。これは、平成二十年度に交付された前期高齢者交付金が、二十二年度に四億六千九百七十万円と大きく減額精算されたこと、保険税の軽減財源となる決算剰余金が二十年度に比較し約二億四千五百万円減額となったため

会議のテレビ 継

一般質問は、市内の有線テレビ（KCVコミュニケーションズ、市情報センター）で生中継し、後日、画放映も行っていますので是非ご視聴ください。

ある。軽減財源である基金六億円のうち五億円を充当し税率改正とする原案に対して、さらに一億円を加えた六億円の繰り入れを行い、一人当たりの税額負担を平均で五千百八十六円引き下げ、少しでも被保険者の負担軽減を図る税率改正とする修正案を多数を持って可決した。

乳幼児医療費の一部改正案は、中学生の通院に係る部分まで医療費助成が実現できるよう付言し、原案のとおり可決した。

診療所条例の一部改正案は、診療報酬の改正に伴う措置であり、

原案のとおり可決した。

学校校務用コンピ ータの財産取得議案は、校務の効率化だけではなく、子どもたちへの教育効果の向上につながる活用を図るよう付言し、原案のとおり可決した。

一般会計補正予算は、大鶴・夜明地区小中一貫校の新校舎改築に係る実施設計等委託料の追加が主なものであり、原案のとおり可決した。

就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願は、いま少し調査研究したいとの意見が多く、継続審査とした。教育福祉委員会で修正を行った国民健康保険税条例の一部改正は、本会議では多数をもって原案が可決されました。

経済環境委員会
口蹄疫発生に伴う防疫対策と畜産経営者支援を

平成二十二年度一般会計補正予算を審議し、次の意見、要望を付し、原案のとおり可決した。

労働費の緊急雇用創出事業については、国の平成二十一年度第二次補正予算における緊急雇用対策



の実施に伴い、二千百十八万円を補正するものであり、七事業、十五名が新たに雇用され、事業全体としては、総額一億九百六十六万一千円、三十一事業、八十七名の新規雇用が創出されたこととなる。委員会としては、経済情勢の急激な変動により厳しい雇用情勢が続く中、安定した雇用の場の創出に努めるよう要望した。

次に、農業費の口蹄疫対策費では、宮崎県で発生した口蹄疫の拡大に伴う防疫対策と、家畜市場休止に伴う畜産経営者支援を目的に、国、県が行う対策のほかに、独自で畜産農家などに消石灰、車両消毒用薬剤等の配布など、口蹄疫に対する防疫対策と畜産経営者支援の一層の充実を図るものである。審査の中では、「酪農、繁殖農家への支援に問題はないのか」「家畜市場の再開の見通しはどうか」

か」「県内に口蹄疫が発生したときの危機管理体制は万全か」「県が実施している消毒ポイントのうち、市職員で対応している箇所があるが、今後、口蹄疫が拡大し消毒ポイントが増設されることになれば、民間企業への委託も検討すべきではないか」などの意見があった。

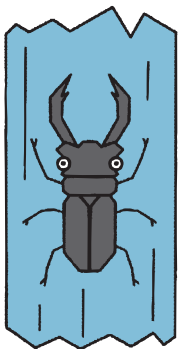
建設委員会
ウッドコンビナート公園と雇用促進住宅の財産を取得

工事委託協定の締結は、平成二十二年度と二十三年度に予定している公共下水道日田終末処理場の管理棟設備更新工事、汚泥消化施設増設工事、汚泥濃縮施設更新工事について、本市に必要な資格を有した職員がいらないこと、高度の専門知識が要求されることから、日本下水道事業団と委託協定を締結しようとするもので、原案のとおり可決した。なお、工事委託協定締結の際には、多くの地元企業が受注できるよう、事業団に対する強い働きかけを要望した。財産の取得（ウッドコンビナート公園）は、公園整備のための用

地、日田市大字東有田字新山の十筆約一万六千平方メートルを日田市土地開発公社から、一億七千九百九十万千円で取得するもので、原案のとおり可決した。

財産の取得（雇用促進住宅日田宿舎）及び、日田市営その他住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正は、独立行政法人雇用・能力開発機構が所有していた雇用促進住宅日田宿舎を日田市宮刃連町住宅として設置するため取得し、所要の措置を講ずるもの。契約事務に関しては、入居者の負担とならないよう配慮することを要望し、原案のとおり可決した。

平成二十二年度日田市一般会計補正予算は、街路事業費のうち、友田大原公園線改築事業で、ハローワーク日田と県道日田玖珠線の間、延長二百七十メートル、幅員二十メートルを整備するもので、委託料及び用地購入費が主なもので、原案のとおり可決した。



請願の結果

六月議会では、請願二件が審議され、次の結果となりました。

採択されました

●「義務教育費国庫負担制度」堅持に関する意見書提出を求める請願

継続審査となりました

●就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願

意見書

六月議会では、次の意見書を採択し、国の関係機関に送付しました。

●口蹄疫発生に伴う各種支援対策の実施に関する意見書

●「義務教育費国庫負担制度」堅持に関する意見書

●電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書



虚礼廃止にご理解ご協力を!

公職選挙法(寄付行為)に関するQ&A

Q 議員が、選挙区内の初 参りにおいて、ご仏前や線香をお供えすることはできますか。

A 親族（親等内（またいとこ・はとこ）の血族、配偶者及び三親等内（おじ・おば・おい・めい）の姻族）に対して行う場合を除いて、寄付に当たりますので禁止されています。

Q 議員が、暑中見舞いや残暑見舞いを選挙区内の市に対して出すことは許されますか。

A 親族に対して行う場合及び答 のための自筆によるものを除いて、禁止されています。例えば、パソコン等による 印刷は、自筆によるものと認められませんが禁止されています。さらに、署のみ自筆したもの、または、口述して他人に代筆させたものも自筆とは認められません。

このほか、議員が、団体の総会や地区の祭りなどで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお歳・病氣見舞い・入学祝いなど、従 から慣行として行われていることであっても、寄付に当たりますので禁止されています。

また、議員に し、市 がこれらを求めることも違となります。

人権擁護委員

次の方々を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

- 赤星 文子 氏（誠和町）
- 熊谷 正義 氏（朝日ヶ丘）
- 山下 浩 氏（刃連町）
- 錦 みどり 氏（田島町）

臨時会の結果

去る五月十七日に開かれました臨時会の結果をお知らせします。
●工事請負契約（地域情報基盤伝送路施設整備工事請負契約）の変更契約の締結について
（原案可決・全員）

九月定例会議事日程

六月定例会の議会運営委員会で、次回（九月）定例会の議事日程案を協議し、次のとおりとなりました。

- なお正式な日程は八月二十六日（木）開催予定の議会運営委員会で決定します。
- 八月三十一日（火） …… 開会
- 九月七日（火） …… 一般質問
- 九月十日（金） …… 議案質疑

- 九月十四日（火） …… 各委員会
- 九月十六日（木） …… 各委員会
- 九月二十一日（火） …… 閉会

編集後記

今議会でも、日田市における口蹄疫対策及び畜産経営者支援のため、五千万円の補正が行われた。
去る四月二十日に、宮崎県で発生した口蹄疫は、六月三十日までに二十万六千頭の殺処分・埋却を行うまでに被害が拡大していった。七月に入り、移動・搬出制限も無くならず、七月中の非常事態宣言全面解除を期待したい。
この間の関係者の状況は、筆舌に尽くしがたいものがあったと思う。
今後の生活・経済の再生に向けての取組には、国の大きな支援の必要性を感じるところである。

（石橋邦彦）



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局（☎三二一八二四）へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境にやさしい「大豆油インク」を使用しています。